

# 市内経営動向調査 平成29年4月～6月期 (第1四半期)

- ① 調査の時期 平成29年7月      ② 調査の期間 平成29年4月～6月  
③ 調査対象企業 280社      ④ 回収状況 141社 (回答率50.3%)  
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、  
業界の景況感、前年同期比売上動向 (H28.4月～6月)、前年同期比採算動向  
(H28.4月～6月)を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

## 【総括】

### ○全業種

全業種では、前年同期比売上動向、前年同期比採算動向においてDI値の改善がみられた。前回調査では、業界の景況感において、3期連続で改善する等、熊本地震発生前の水準まで回復の動きが見られたが、今回佐世保の景況感に比例してDI値は悪化に転じた。なお前年同期比売上動向、前年同期比採算動向においては、改善しているものの、昨年は熊本地震による影響も見られたため今後の動向に留意が必要である。また、経営上の問題点としては、依然として人手不足を問題とする声が多く寄せられている。全国的には、輸出や設備投資の堅調な推移、夏の観光需要や夏物商戦の消費の拡大に期待する声が聞かれる一方、人手不足の影響拡大に加え、消費者の節約志向、運送費・原材料費の上昇分の価格転嫁など、先行きへの懸念材料を指摘する声も多く、今後の景況感は横ばい圏内で推移する見通しである。

### ○佐世保市内の景況感

DI値は、製造業において改善したものの、建設業、卸・小売業、サービス業において悪化した。製造業においては、改善に転じたものの、業界の景況感においてはDI値が大きく悪化しているため、今後の動向に注視したい。卸・小売業、サービス業では、2期連続で悪化。全国的に業況改善に一服感がみられる中で、外部環境の好転による業況回復に期待したい。

### ○市内業界の景況感

DI値は、建設業、卸・小売業において改善したものの、製造業、サービス業において悪化した。前回まで全業種の中で高い数値を維持していた建設業では、『良い』と回答した企業が5.2%増加し、▲9.5(前回比+6.0ポイント)と3期連続で改善した。一方で卸・小売業では、▲44.1(前回比+0.6ポイント)と3期連続で改善しているが、低水準が続いている。

### ○前年同期比の売上動向









































DI値は、建設業、サービス業において改善したものの、製造業、卸・小売業において悪化した。サービス業では、『やや減少』と回答した企業が10.8%減少し、▲5.9(前回比+11.2ポイント)と前回に続き改善した。しかし、前年は熊本地震の影響も見られたため、今後の動向に留意が必要である。卸・小売業では、『やや減少』と回答した企業が7.5%増加し、▲33.4(前回比-12.3ポイント)と大きく悪化。市内や業界の景況感においても、全業種の中で低水準が続いているため、早期回復に期待したい。

### ○前年同期比の採算動向

DI値は、全ての業種において改善した。依然として、人手不足の影響拡大による労務費の上昇や原材料費の上昇、価格競争を問題視する声が寄せられた。全国的にもこれらの要因が足かせとなる中、先行きは懸念材料が多く、業況改善に向けた動きは足元で一服感がみられる等、力強さを欠いている。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
<b>全業種 DI値 ▲ 34.7</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 31.8</b>				<b>全業種 DI値 ▲ 19.3</b>				<b>全業種 ▲ 15.8</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	0.71%	0.7	1.好転	1	0.72%	0.7
2.良い	2	1.42%	1.4	2.良い	6	4.26%	4.3	2.やや増加	24	17.14%	17.1	2.やや好転	18	12.95%	13.0
3.普通	88	62.41%	62.5	3.普通	84	59.57%	59.6	3.変わらない	63	45.00%	45.1	3.変わらない	79	56.83%	56.8
4.悪い	47	33.33%	33.3	4.悪い	48	34.04%	34.0	4.やや減少	38	27.14%	27.1	4.やや悪化	33	23.74%	23.7
5.大変悪い	4	2.84%	2.8	5.大変悪い	3	2.13%	2.1	5.減少	14	10.00%	10.0	5.悪化	8	5.76%	5.8
<b>建設業 DI値 ▲ 19.0</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 9.5</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 19.1</b>				<b>建設業 DI値 ▲ 11.9</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	2.38%	2.4	2.良い	5	11.90%	11.9	2.やや増加	4	9.52%	9.5	2.やや好転	3	7.14%	7.1
3.普通	32	76.19%	76.2	3.普通	28	66.67%	66.7	3.変わらない	26	61.90%	61.9	3.変わらない	31	73.81%	73.9
4.悪い	7	16.67%	16.7	4.悪い	7	16.67%	16.7	4.やや減少	7	16.67%	16.7	4.やや悪化	4	9.52%	9.5
5.大変悪い	2	4.76%	4.7	5.大変悪い	2	4.76%	4.7	5.減少	5	11.90%	11.9	5.悪化	4	9.52%	9.5
<b>製造業 DI値 ▲ 25.8</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 35.5</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 19.3</b>				<b>製造業 DI値 ▲ 3.3</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	1	3.23%	3.2	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	6	19.35%	19.4	2.やや好転	6	20.00%	20.0
3.普通	21	67.74%	67.8	3.普通	20	64.52%	64.5	3.変わらない	13	41.94%	41.9	3.変わらない	17	56.67%	56.7
4.悪い	9	29.03%	29.0	4.悪い	11	35.48%	35.5	4.やや減少	11	35.48%	35.5	4.やや悪化	6	20.00%	20.0
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	1	3.23%	3.2	5.悪化	1	3.33%	3.3
<b>卸・小売業 DI値 ▲ 50.0</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 44.1</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 33.4</b>				<b>卸・小売業 DI値 ▲ 27.4</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	0	0.00%	0.0	1.好転	1	3.03%	3.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	0	0.00%	0.0	2.やや増加	5	15.15%	15.1	2.やや好転	4	12.12%	12.1
3.普通	17	50.00%	50.0	3.普通	19	55.88%	55.9	3.変わらない	12	36.36%	36.4	3.変わらない	14	42.42%	42.4
4.悪い	15	44.12%	44.1	4.悪い	14	41.18%	41.2	4.やや減少	12	36.36%	36.4	4.やや悪化	12	36.36%	36.4
5.大変悪い	2	5.88%	5.9	5.大変悪い	1	2.94%	2.9	5.減少	4	12.12%	12.1	5.悪化	2	6.06%	6.1
<b>サービス業 DI値 ▲ 47.1</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 44.2</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 5.9</b>				<b>サービス業 DI値 ▲ 20.6</b>			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.94%	2.9	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	0	0.00%	0.0	2.良い	1	2.94%	2.9	2.やや増加	9	26.47%	26.5	2.やや好転	5	14.71%	14.7
3.普通	18	52.94%	52.9	3.普通	17	50.00%	50.0	3.変わらない	12	35.29%	35.3	3.変わらない	17	50.00%	50.0
4.悪い	16	47.06%	47.1	4.悪い	16	47.06%	47.1	4.やや減少	8	23.53%	23.5	4.やや悪化	11	32.35%	32.4
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	4	11.76%	11.8	5.悪化	1	2.94%	2.9

市内経営動向調査 平成 29 年度第 1 四半期（平成 29 年 4 月～6 月）DI 景況感 ※DI 値は平成 28 年第 4 四半期（平成 29 年 1 月～3 月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲30.4 ⇒ ▲34.7 ↘  ⇒  ↓	DI ▲28.6 ⇒ ▲31.8 ↘  ⇒  ↓	DI ▲21.1 ⇒ ▲19.3 ↘  ⇒  ↑	DI ▲29.8 ⇒ ▲15.8 ↘  ⇒  ↑
建設業	DI ▲17.8 ⇒ ▲19.0 ↘  ⇒  ↓	DI ▲15.5 ⇒ ▲9.5 ↘  ⇒  ↑	DI ▲26.7 ⇒ ▲19.1 ↘  ⇒  ↑	DI ▲22.8 ⇒ ▲11.9 ↘  ⇒  ↑
製造業	DI ▲28.5 ⇒ ▲25.8 ↘  ⇒  ↑	DI ▲20.7 ⇒ ▲35.5 ↗  ⇒  ↓	DI ▲17.3 ⇒ ▲19.3 ↗  ⇒  ↓	DI ▲27.6 ⇒ ▲3.3 ↘  ⇒  ↑
卸・小売業	DI ▲39.5 ⇒ ▲50.0 ↗  ⇒  ↓	DI ▲44.7 ⇒ ▲44.1 ↘  ⇒  ↑	DI ▲21.1 ⇒ ▲33.4 ↗  ⇒  ↓	DI ▲32.4 ⇒ ▲27.4 ↘  ⇒  ↑
サービス業	DI ▲38.3 ⇒ ▲47.1 ↗  ⇒  ↓	DI ▲34.3 ⇒ ▲44.2 ↗  ⇒  ↓	DI ▲17.1 ⇒ ▲5.9 ↘  ⇒  ↑	DI ▲38.3 ⇒ ▲20.6 ↘  ⇒  ↑



DI100～81



DI80～41



DI40～11



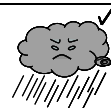
DI10～▲10



DI▲11～▲40

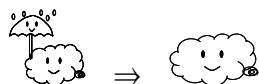


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↘ (平成 21 年度第 1 四半期～平成 29 年度第 1 四半期の傾向)



↑ (平成 28 年度第 4 四半期と平成 29 年度第 1 四半期との比較)

## 【概 況】

(全業種) ※ ( ) 内は前回調査値

### ① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」1.4% (3.4%)、「普通」62.5% (62.8%)、「悪い」33.3% (31.7%)、「大変悪い」2.8% (2.1%) となり、DIは▲34.7 (▲30.4) と4.3ポイント悪化した。業種別DIでは、製造業でプラスに作用し、建設業、卸・小売業、サービス業ではマイナスに作用した。

### ② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0%)、「良い」4.3% (6.1%)、「普通」59.6% (59.2%)、「悪い」34.0% (32.0%)、「大変悪い」2.1% (2.7%) となり、DIは▲31.8 (▲28.6) と3.2ポイント悪化した。業種別DIでは、建設業、卸・小売業でプラスに作用し、製造業、サービス業ではマイナスに作用した。

### ③ 前年同期（平成28年4月～6月）比の売上動向について

「増加」0.7% (2.7%)、「やや増加」17.1% (16.3%)、「変わらない」45.1% (40.9%)、「やや減少」27.1% (27.2%)、「減少」10.0% (12.9%) となり、DIは▲19.3 (▲21.1) と1.8ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、サービス業でプラスに作用し、製造業、卸・小売業ではマイナスに作用した。

### ④ 前年同期（平成28年4月～6月）比の採算動向について

「好転」0.7% (2.1%)、「やや好転」13.0% (8.3%)、「変わらない」56.8% (49.4%)、「やや悪化」23.7% (33.3%)、「悪化」5.8% (6.9%) となり、DIは▲15.8 (▲29.8) と14.0ポイント改善した。業種別DIでは、全ての業種でプラスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

**(建設業)** 回答：78社中42社、回答率53.8%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.4% (4.4%)、「普通」76.2% (73.4%)、「悪い」16.7% (20.0%)、「大変悪い」4.7% (2.2%) となり、DIは▲19.0 (▲17.8) と1.2ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」11.9% (6.7%)、「普通」66.7% (71.1%)、「悪い」16.7% (20.0%)、「大変悪い」4.7% (2.2%) となり、DIは▲9.5 (▲15.5) と6.0ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (2.2%)、「やや増加」9.5% (6.7%)、「変わらない」61.9% (55.5%)、「やや減少」16.7% (20.0%)、「減少」11.9% (15.6%) となり、DIは▲19.1 (▲26.7) と7.6ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (2.3%)、「やや好転」7.1% (4.5%)、「変わらない」73.9% (63.6%)、「やや悪化」9.5% (18.2%)、「悪化」9.5% (11.4%) となり、DIは▲11.9 (▲22.8) と10.9ポイント改善した。

#### 《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事を含む受注の増加などの回答があった。

悪化要因では、公共工事を含む受注数の減少、他店との価格競争の影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、受注増加、経費削減の効果などの回答があった。

悪化要因では、売上の減少などの回答があった。

○経営上の問題

労働力不足、技術者不足を問題視する声が寄せられた。

**(製造業) 回答：64社中31社、回答率48.4%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」3.2% (3.6%)、「普通」67.8% (64.3%)、「悪い」29.0% (32.1%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲25.8 (▲28.5) と2.7ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (6.9%)、「普通」64.5% (65.5%)、「悪い」35.5% (27.6%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲35.5 (▲20.7) と14.8ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (10.3%)、「やや増加」19.4% (10.3%)、「変わらない」41.9% (41.5%)、「やや減少」35.5% (27.6%)、「減少」3.2% (10.3%) となり、DIは▲19.3 (▲17.3) と2.0ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (6.9%)、「やや好転」20.0% (6.9%)、「変わらない」56.7% (44.8%)、「やや悪化」20.0% (37.9%)、「悪化」3.3% (3.5%) となり、DIは▲3.3 (▲27.6) と24.3ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上動向

好転要因では、売上の増加（海外含む）、新商品の投入、新規取引先の増加などの回答があった。  
悪化要因では、受注の減少や取引先の業況低迷などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、出荷量増加や経費の見直し、売上増加などの回答があった。  
悪化要因では、原材料の値上がりや仕入れ商品の品質劣化、受注の減少などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や人件費の高騰、資金繰りを問題視する声が寄せられた。

**(卸・小売業) 回答：73社中34社、回答率46.5%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (2.6%)、「普通」50.0% (55.3%)、「悪い」44.1% (36.8%)、「大変悪い」5.9% (5.3%) となり、DIは▲50.0 (▲39.5) と10.5ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (0%)、「普通」55.9% (55.3%)、「悪い」41.2% (36.8%)、「大変悪い」2.9% (7.9%) となり、DIは▲44.1 (▲44.7) と0.6ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」0% (0%)、「やや増加」15.1% (21.0%)、「変わらない」36.4% (36.9%)、「やや減少」36.4% (28.9%)、「減少」12.1% (13.2%) となり、DIは▲33.4 (▲21.1) と12.3ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」3.0% (0%)、「やや好転」12.1% (8.1%)、「変わらない」42.4% (51.4%)、「やや悪化」36.4% (35.1%)、「悪化」6.1% (5.4%) となり、DIは▲27.4 (▲32.4) と5.0ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、同業他社の廃業、店舗リニューアル効果などの回答があった。

悪化要因では、得意先の減少や事業縮小、商品単価安の影響、外部環境の変化などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、粗利益の改善、業務の効率化などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や仕入れ及び原材料の高騰などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や従業員の高齢化、仕入コスト、中央の景況感と地方との格差などを問題視する声が寄せられた。

**(サービス業) 回答：65社中34社、回答率52.3%**

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」0% (2.9%)、「普通」52.9% (55.9%)、「悪い」47.1% (41.2%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲47.1 (▲38.3) と8.8ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.9% (11.4%)、「普通」50.0% (42.9%)、「悪い」47.1% (45.7%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲44.2 (▲34.3) と9.9ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.9% (0%)、「やや増加」26.5% (28.6%)、「変わらない」35.3% (25.7%)、「やや減少」23.5% (34.3%)、「減少」11.8% (11.4%) となり、DIは▲5.9 (▲17.1) と11.2ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」14.7% (14.7%)、「変わらない」50.0% (32.3%)、「やや悪化」32.4% (47.1%)、「悪化」2.9% (5.9%) となり、DIは▲20.6 (▲38.3) と17.7ポイント改善した。

**《主な自由意見》**

○昨年同期の売上

好転要因では、新規顧客の増加や荷動きの増加、キャンペーン効果、昨年は震災の影響があったためなどの回答があった。

悪化要因では、顧客の減少やインバウンドの減少、客単価の減少、稼働台数の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、取引先の増加や利用者の増加などの回答があった。

悪化要因では、売上の減少や仕入価格・人件費・燃料費等の増加などの回答があった。

○経営上の問題

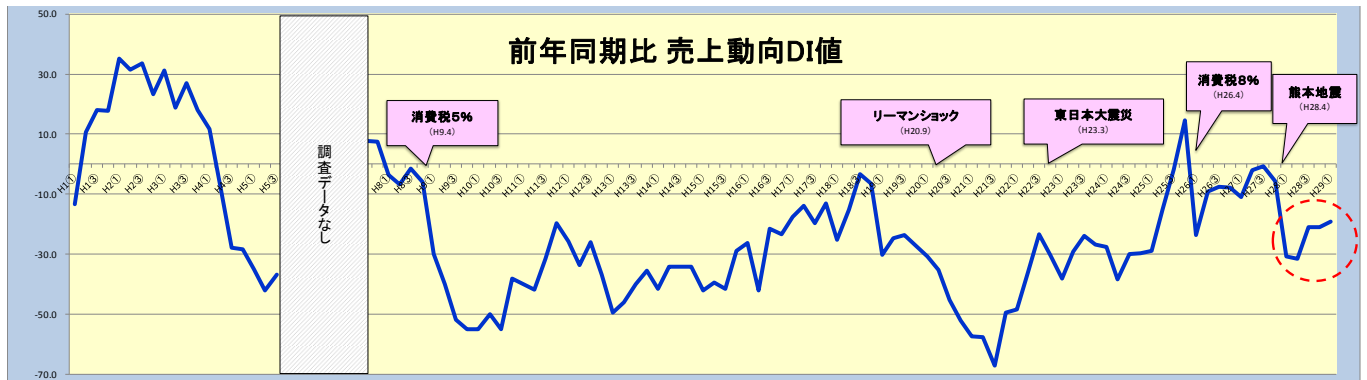
人手不足や値上げ交渉、保管スペースの不足などを問題視する声が寄せられた。

以上

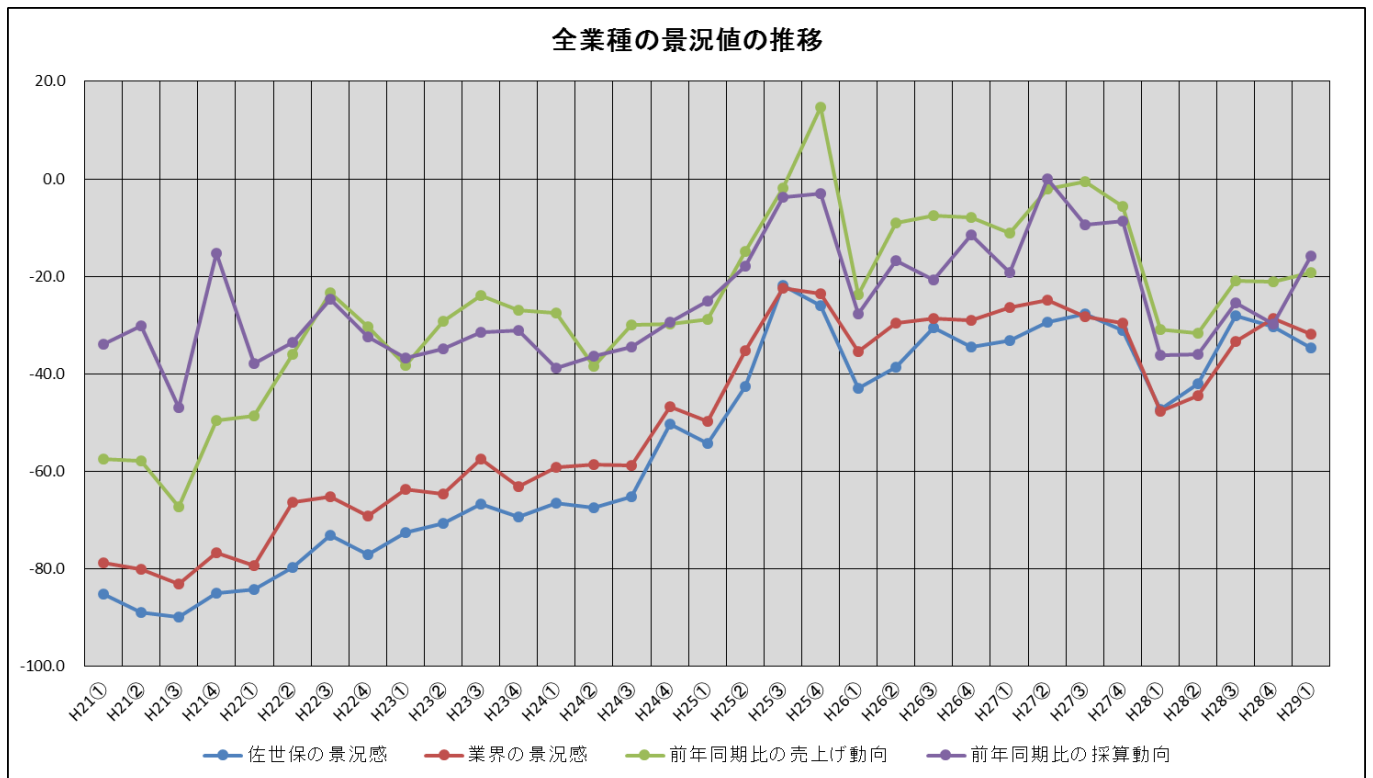


平成 29 年度第 1 四半期 経営動向調査表

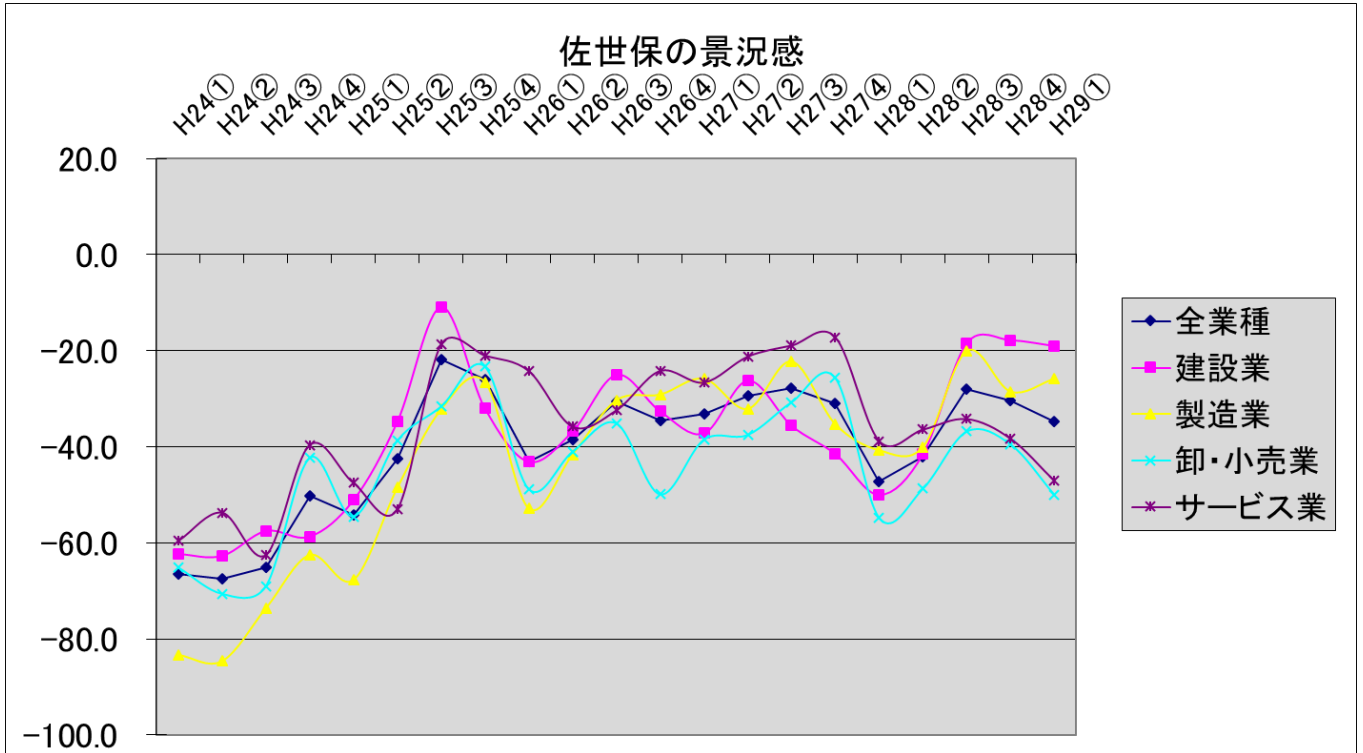
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）】



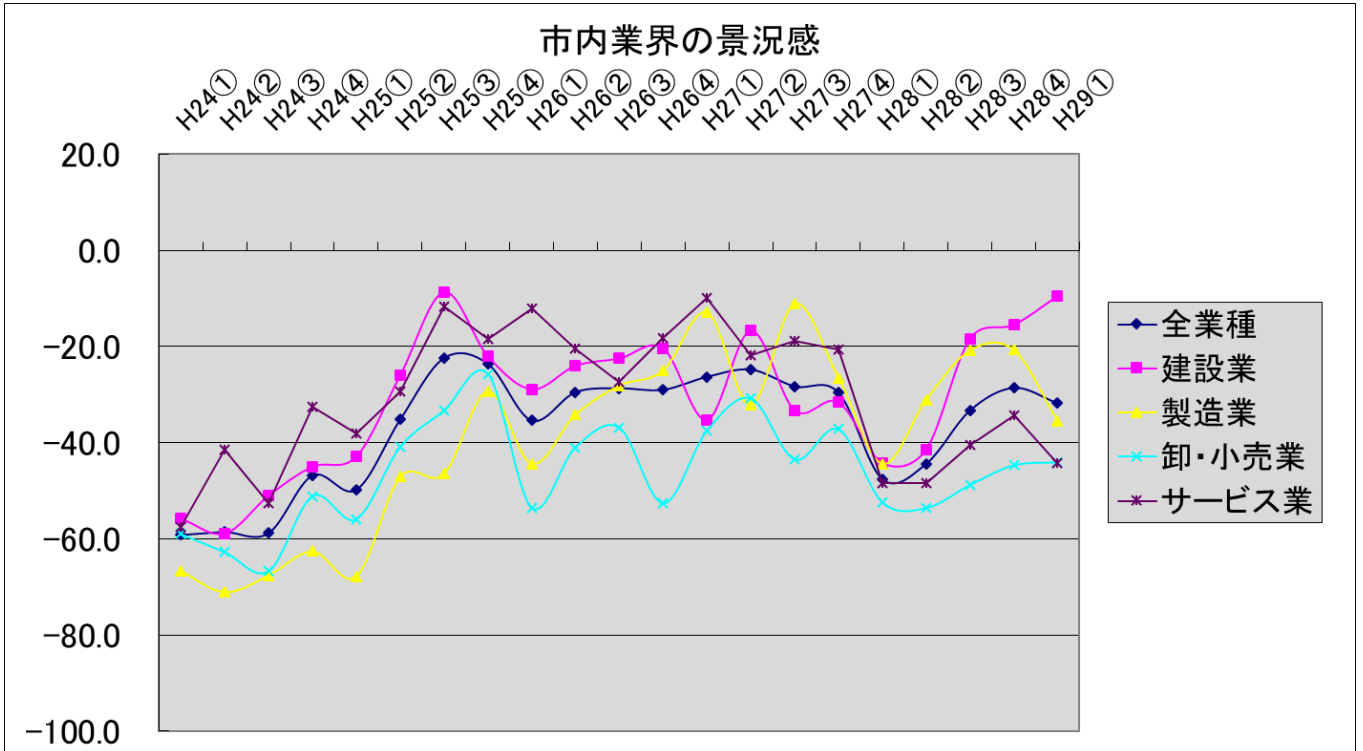
図表 1 - 2 【全業種DI値の推移（平成 21 年～）】



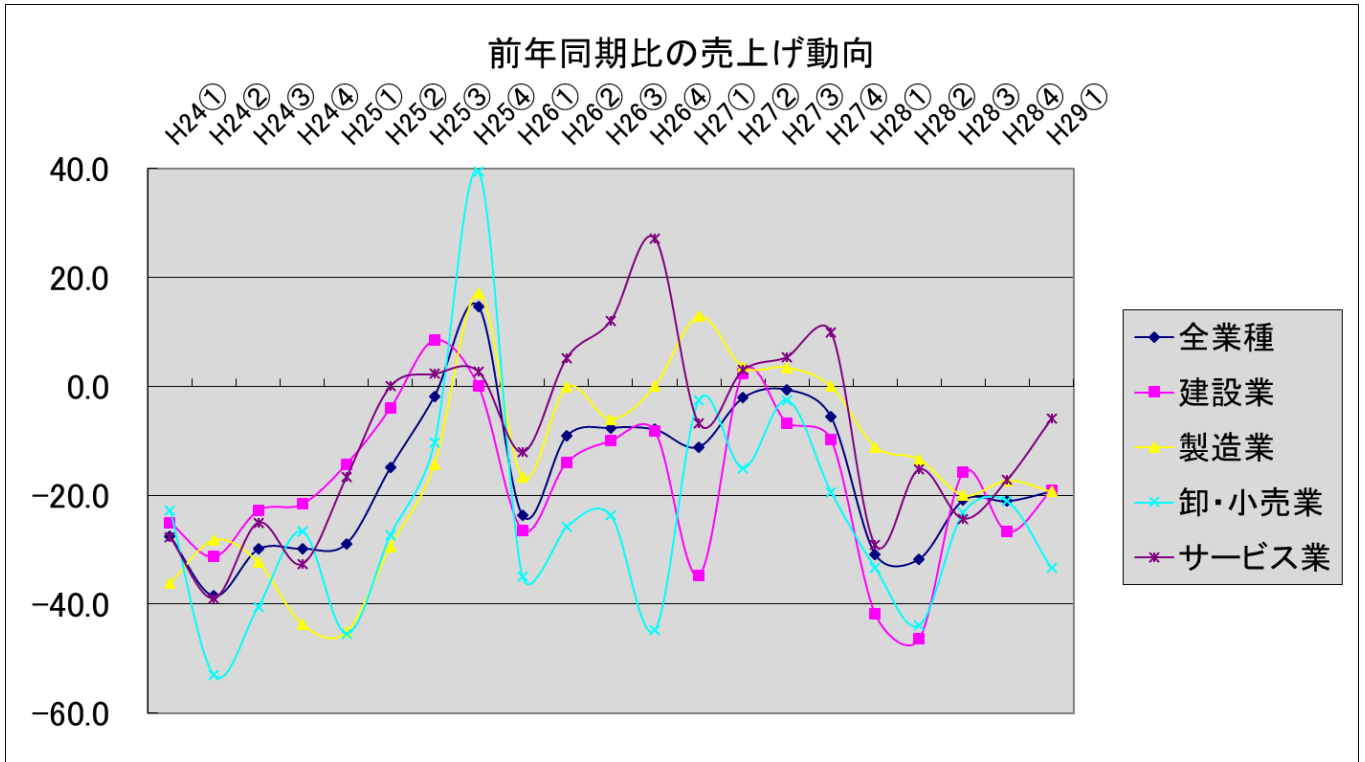
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 24 年～）】

